

企業名	株式会社 齋藤建設
代表者	齋藤 賢二
所在地	安達郡東和町太田字案内62 - 1
TEL	0243 - 47 - 3704
FAX	0243 - 47 - 3715
資本金	2,000万円
従業員数	27名(男性23名・女性4名)
事業内容	土木・建築・舗装・水道施設・造園・ とび・土工・鋼構造物・石・管
主要取引先	福島県建設事務所・東和町・民間
経営方針	1. 信頼と安定性のある企業 2. 些細なことでも話し合える意思の 疎通を大切にす職場環境 3. 健康でたくましく生きていける企 業

企業の特徴

当社は、現在の会長が建築業に従事していた経験を活かし、昭和11年1月土木建築工事業を個人にて創業しました。昭和25年、商号を「齋藤建築設計事務所」とし、福島県知事登録土木建築請負業として、第一歩を歩み始めました。当時は、戦後の建築ブームの真っ只中であつたことから大変多くの工事を受注、実績と信用を確保し今日の基礎を築くことができました。

また、土木建築業と平行して「移動製材」を手掛けていましたが、木材の需要も多かったことから新たに「齋藤材木店」として製材所を開業しました。当時、材木は統制の時代であつたため、役人の検査を受け「製品」として東京に出荷しておりました。その後、製材所は弟に移譲、現在も営業を継続しております。

昭和42年3月、有限会社齋藤建設に法人成りし、総合建設業として組織の充実を図り、昭和43年5月には福島県建設業協会に加入、福島県発注の工事受注も可能となり信用力の確保と業容の拡大とを図ることができました。

社長は、当地出身で学校卒業後昭和28年当社に入社し「土工工事・建築工事」について修業しました。同時に後継者として経営面にも携わり、後継者育成組織の「けやきの会」にも入会して研鑽を積み、昭和42年取締役役に就任、さらに昭和57年6月前社長に代り代表取締役役に就任し、土工工事部門の充実と拡大に努力してまいりました。平成7年11月、株式会社齋藤建設に改組、現在に至っております。

現在に至るまで記憶に残るものは、福島県から最初に公共工事として受注した災害復旧工事(ブロック工事)と機械設備として最初に重機3台をまとめて購入したことです。

景気低迷が続く中、今後勝ち残っていくためにIT活用による業績管理で効率化を図るとともに、更なる技術の向上に取り組み、時代の変化にも充分対応できる組織の充実を図り「うちの会社は良い仕事をしているんだ」と自信がもてる様な仕事をする事、またどのような困難に遭遇しても打ち克つことの出来る体質の会社を目標に努力を重ねております。

当社は、人命尊重を第一の基本として労務安全には特に注意を払い、毎月の定例安全会議と勉強会で注意喚起と確認を行い、労働災害「ゼロ」を目指して事業活動に取り組んでおります。

「企業は人なり、人づくりから」と言われるように社員一人一人が持っている個性を活かし、研究を重ね能力の向上に努めてまいります。

当社は、創業以来六十有余年の歴史の中で景気の浮き沈みを乗り越えて、この地において長い年月営業を続けることが出来たことに感謝し、地域社会に親しまれ信頼される企業を目指して、地域の発展に尽くして行きたいと熱く語っていただきました。



完成した急傾斜地対策工事